

## 1 成果指標（KPI）の考え方

- 子供のスポーツ・文化芸術活動全体の充実を評価する視点が重要
- 活動の目的や参加動機は多様であるため、背景要因を把握する補完設問が必要
- 教育的意義の継承・発展や、地域展開による新たな価値創出が見える指標とすべき

## 2 評価・分析の視点

- 一律の目標値ではなく、経年変化を継続的に把握することが重要
- 活動機会や選択肢の拡大、多様な体験機会の充実状況を確認すべき
- 教員の負担軽減については、単なる時間減ではなく、負担の内容や質まで分析する必要

## 3 調査対象・調査方法

- 区市町村等によって取組状況が異なるため、実施状況や学校規模等を踏まえた抽出が必要
- 生徒は中学2年生を基本とすることや、地域クラブ指導者・外部人材まで対象を拡大
- 特別支援学校の実態に配慮した設問設計が必要
- 調査結果は区市町村や関係機関が活用できるよう、共有方法を工夫すべき

### ➤ まとめ

- ✓ KPI（代表指標）と補完設問を組み合わせ、多面的に評価することが重要
- ✓ 子供の活動機会の充実と教育的意義の継承・発展を成果として捉えるべき
- ✓ 教員の負担軽減については、負担の実態を分析し、課題の要因を把握することが必要